

令和3年10月7日

関係各位

東京大学 グローバルキャンパス推進本部  
日本語教育センター長  
矢口 祐人

東京大学日本語教育センター非常勤講師の公募について

本センターでは、下記の通り非常勤講師を公募いたしますので、お知らせいたします。

職務内容	本学の留学生・外国人研究者等（主な対象は20代後半～30代の外国人留学生）に対する初級～中上級の日本語教育、及びそのために共同で行う教育方法開発等への参画
募集人数	若干名
契約期間	令和4年4月～令和5年3月
更新の有無	・更新する場合があります。更新する場合は、1年ごとに行う。 契約期間が満了した場合の更新については、東京大学における教員の就業に関する規則の定めるところにより、予算の状況及び従事している業務の必要により、かつ、当該非常勤講師の勤務成績の評価に基づき行います。
試用期間	採用された日から14日間
就業場所	東京大学日本語教育センター（主として東京大学本郷キャンパス、一部駒場Ⅱキャンパスでの授業もあり）。状況によりオンライン（Zoom等）での授業となる場合もあります。
就業日・就業時間	・4月中旬～7月下旬、10月中旬～12月中旬、1月上旬～下旬の間、週2日以上出勤し、原則として授業を週4コマ以上担当（1コマ105分）、あわせて授業に関連する職務（教材作成、提出物のチェックなどの他、年数回のミーティング・開講式等への出席なども含む）を担当していただきます。 ・上記以外の期間についても、臨時に開講する短期コース等の担当を、ご同意が得られれば、お願いすることがあります。 ・応募時点では、令和4年度の「勤務可能な曜日」を特定して届け出ていただくことは必要ありません。ご担当いただく曜日は、届け出られた「勤務可能な曜日」よりも少なくなる場合もあります。
休日	土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
賃金等	東京大学非常勤講師の就業に関する規程に基づき、年齢・実績・能力等に基づき決定します。規程は下記をご参照ください。 <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/gen01/reiki_int/reiki_syuki/syuki33.pdf">https://www.u-tokyo.ac.jp/gen01/reiki_int/reiki_syuki/syuki33.pdf</a>
加入保険	法令の定めるところによる。
応募要件・応募書類	別紙をご参照ください。

<p>応募期限・ 選考方法</p>	<p><u>1. 応募期限：令和3年12月13日(月) 必着</u> 「応募書類」(1)～(5)を、「〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 日本語教育センター長」あて郵送してください(封筒表面左下に「非常勤講師応募」と朱書。持参不可)。なお、応募書類はお返ししませんので、予めご了承ください。</p> <p><u>2. 第1次選考：書類選考</u> 12月21日(火)をめどに結果を(通過の場合は第2次選考の日時も)eメールで通知します。</p> <p><u>3. 第2次選考：面接・模擬授業等の実施</u> 第1次選考通過者を対象に、令和4年1月7日(金)、9日(日)のいずれかに、時間帯を指定して、本センター(東京大学本郷キャンパス内)で面接・模擬授業等を実施します。所要時間は60分程度です。なお、その際の交通費は応募者の負担とします。選考は第2次選考までとし、採否は1月中にお知らせします。 なお、状況によりキャンパスへの立ち入りが制限されるなどの場合には、他の方法にて行います。詳細は、第1次選考通過者に通知します。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>東京大学 教育・学生支援部 国際支援課 企画チーム(本センター事務担当) 古川 <a href="mailto:ic.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp">ic.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp</a></p>
<p>募集者名称</p>	<p>国立大学法人東京大学</p>
<p>その他</p>	<p>取得した個人情報は、本選考以外の目的には利用しません。</p>

別紙 [東京大学日本語教育センター非常勤講師公募（令 3.10.7）にかかる]

## I. 応募要件

1. 勤務上の要件 上記職務内容に対応できる方。
2. 学歴 大学院修士課程を修了している方(令和4年3月までに修了見込みの方を含みます)。
3. 日本語教育歴 年齢に相応の日本語教育歴のある方。  
(ただし、「個人教授」「TA」は日本語教育歴の計算に含めません)。
4. 日本語教授者としての要件 下記の各項をすべて満たす方。
  - (1) 初級～中上級学習者に、一般の教材や本センターの開発教材を用いて、学習者が学んだことを教室外の実際の日本語使用に活かせるような教育を行える方。
  - (2) 日本語教育学界の研究の蓄積と最近の動向を把握し、それらを踏まえた効果的な教育と教材作成を行える方。
  - (3) 他の教授者と協働して、本センターの学習者の実状にふさわしい日本語教育を追究できる方。

## II. 応募書類

「応募書類」は下記の通りです。いずれも A4判の紙に記してください。  
(縦長・横書き、下記各項ごとに紙を変え、(2)以下については、それぞれの最初の頁に(2)、(3)、…の番号と表題(□部)を記してください。氏名は、(2)、(3)、…ごとに、最初の頁の右上にのみ記してください。)

(1) 履歴書 以下の要領で記載し、写真も貼付してください。

- ・年齢：2022年4月1日現在で、生年は西暦で記してください。
- ・連絡先：日本国内の郵便宛先・電話番号および「12月下旬から1月にかけてメールを読めるメールアドレス」を記してください。
- ・学歴・職歴：応募時現在で記し、近く予定されることは「見込」と記してください。職歴は、退職時期もわかるように記してください。日本語教育に関する職歴は、専任・非常勤を問わず記してください。ただし、個人教授とTAは、記さないでください。

(2) 授業案(教案) 可能形(「読める」「起きられる」など)の文を新規項目として教える場合の具体的な授業案を、下記の条件に沿って作成してください。

- ① 授業のゴール：学習者がこの学習項目の意味・機能を理解し、教室内外で適切・効果的に使えるようになることをめざす。
- ② 学習段階：初級全課程中、約半分程度が終了した段階。
- ③ 既習事項や関連表現との関係：1)「...ことができる」は未習(当該コマで扱うか

どうかは自由)。2) 受身は未習。

- ④ 学習者：世界各国からの留学生。(20代後半-30代前半, 母語はさまざま, 約10人)
- ⑤ 教室での使用言語：できるだけ日本語を使用するが, 必要に応じて英語も使用。
- ⑥ 授業時間：105分。
- ⑦ 授業案の書式：自由。(本センターwebページに掲載の書式を利用してもよい)
- ⑧ 分量：A4判3枚以内。(タスク等で補助教材を使う場合は, その概要がわかる資料を, 授業案本体の後に付け加えて提出。その資料もA4判, 枚数は本体と別に3枚以内とします)

\* 授業案の審査は, 応募者名が伏せられた状態で厳正に行われます。

**(3) 「日本語教育における私の現在の関心／問題意識」** (A4判1枚以内)

上記のテーマについて, 各自の教育体験に基づき, できるだけ具体的に, 実践可能な方向を探りつつ書いてください。対象とする学習者のレベルは, 初級～中級とします。

**(4) 主要研究業績表** 修士(博士)論文の題目を記すとともに, 発表論文・口頭発表・公刊された教材などがあれば, 題目その他必要な情報を記してください。現物やコピーの添付は, この段階では必要ありません(第1次選考通過の方に, その段階で, 業績の一部の現物かコピーの提出をお願いすることがあります)。

**(5) 第2次選考の日時に関する制約** 第1次選考を通過した場合, 1月7日(金), 9日(日)のいずれかに, 時間帯を指定して第2次選考を行います。このうちご都合の悪い時間帯があれば(制約がない場合もその旨)記してください。なお, 制約が多すぎると, 対応できない場合があります。

### III. その他

本センターの詳細, および, 授業案の書式のダウンロードは, 下記をごらんください。  
[http://www.nkc.u-tokyo.ac.jp/contents/information\\_j.html](http://www.nkc.u-tokyo.ac.jp/contents/information_j.html) (「日本語教育関係の方へ」)

以上